

令和4年5月

町長日誌

大型連休の時期も終わり、町内の水田では田植えがほぼ終わろうとしています。

昨年の米価下落を受け、町では6月中を目途に「米作り応援特別交付金」として10アールあたり4,000円を農家のみなさんに交付します。少しでも稲作の意欲向上の一助になったのであれば幸いです。

今年の米価がどうなるのかはまだわかりませんが、これ以上の減価になれば農家にとっては大きな打撃となります。国は食料自給率の目標を2025年には45%まで上昇させるとしています。人口減やコメの消費量が減っている中で主食用米の調整は必要だと思いますが、中山間地域等への配慮が必要ではないかと思えます。

さらに、今年に入ってから、ロシアのウクライナ侵攻等による輸入への影響により、農産物生産にかかる肥料・原料費の高騰やエネルギー価格の高騰が加わっています。農家は大きな打撃を受けることになり、このことが生産量の減少につながれば、農産物は値上げせざるを得ない状況となります。これを機に、一定エリア内での原材料や生産物の地産地消化や経済構造の構築などを考え直すことも重要ではないでしょうか。

また、地元産の原材料を使用した有機農法やスマート農業の検討・導入など、生産にかかる省力化を加えて新たな取り組みを推進していくことも、長期的な視点では必要ではないかと考えています。

いずれにしても、町としては新たな方向への挑戦と国への要望が必要であると考えています。

平年では6月6日には梅雨入りとなります。近年はこの時期、大規模豪雨災害が多発しています。大きな被害が起こらないことを願うばかりですが、まずは避難の重要性を町民のみなさんに理解していただき、行動していただくよう呼び掛けていきたいと思えます。

令和4年5月31日 日南町長 中村英明